

校長室だより

はじめまして。

4月1日付けで着任しました校長の中田と申します。すでに役職定年を過ぎておりますが、特例により校長職を継続させていただいております。もうすぐ62歳になる還暦越えですが、老体にむち打ってがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、校庭の桜が盛りを過ぎて、木々が芽吹き、若々しい緑色の葉がそよ風に揺れています。

今日から新しい年度が始まりました。子供たちは1つずつ進級しました。明日の入学式からは新1年生の小学校生活がスタートします。

教室や下駄箱の移動、新たな担任や職員との出会い、新しい教科書…。

しばらくの間は、子供たちは大きな期待とともに不安も抱えながら緊張した毎日を過ごすことになるかと思えます。それは我々職員も同じです。保護者の皆様も期待と心配の入り交じった心境かもしれません。

「長所と短所は表裏一体」とか、「弱点は強みに変えられる」といった言葉があります。

一見、弱点や短所に見えることも、視点を変えれば、それは強みでもあるという意味です。

子供の場合、「落ち着かない」とみるか「活発である」と捉えるのか、「心配性」とみるのか「慎重」と捉えるのか。見方、捉え方によっては短所も長所になります。教師の場合も「厳しい先生」とみるか「毅然とした指導ができる」と捉えるのか、「甘い、ゆるい」とみるのか「やさしく温かい」と捉えるのかで見方が違ってきます。

家庭と学校は子育てのパートナーであり、車の両輪ともいえます。一方だけが強く回っても同じところでクルクル回って前へは進めません。同一步調で進められればと考えます。教師は万能ではありません。ですから互いに欠点を補い合って「チーム」として教師集団で対応していきます。御心配な点やお気づきの点があれば、遠慮なくお問い合わせください。学級担任はもとより、学年主任、養護教諭、生徒指導主任、子どもと親の相談員、スクールカウンセラー、管理職など、相談の窓口を広げてお待ちしております。

本校では、「自分から、自分で、自分らしく」をテーマに、自発性、主体性を育て、個性の伸長を図っていきたくと考えています。子供たちに寄り添い、一人一人の自己実現を目指して、職員一丸となって教育活動に邁進してまいります。御理解と御協力の程、よろしくお願い致します。 校長 中田邦明

折に触れて、学校の様子や校長の雑感等をさくら連絡網でお送りして参りたいと考えます。不定期ですが、御一読いただければ幸いです。